



「沖縄県人材育成企業認証制度から学ぶ離職率低下の方策」

● 沖縄県雇用政策課の調査 (平成23年度)

・成長実感・予感
・家族にすすめたい
・離職率と相関関係

	働きがい(高)		
働きやすさ (低)	人材輩出企業 3社(1.9%)	人材育成企業 33社(20.8%)	働きやすさ (高)
	人材流出企業 70社(44.0%)	人材滞留企業 53社(33.3%)	
	働きがい(低)		

※成長予感と離職率の相関関係が高い。3年後、自分がどのようなキャリアを描いているか、見通しがたつことが人材育成企業にはある。

● 働きがい5分野15項目とは

分野	項目
1	ビジョンと人材像の実質化
2	コミュニケーションを通じた人材育成
3	仕事を通じた人材育成
4	職場育成機能を補完する人材育成投資
5	人・仕事・キャリアへの取り組み姿勢の形成支援

● 未認証企業において点数の開きが大きい項目

分野1の項目1	項目1の基準
ビジョンと人材像の明確化	組織として目指す姿、期待される行動や人材像などが明確に定義されている
人材像に基づく採用・評価・登用	「期待される人物像」に基づいて人材の採用が行われ、その基準が評価制度や人材の登用基準にも十分反映されている

沖縄県は全国平均と比べ離職率が高く、大卒の入社3年以内の離職が約50%というデータがあります。早期離職を防ぐことは地域にとっても重要です。労働環境や働き方を改善し、離職率を低下させ、経済活性化を目指すという目的で沖縄県人材育成企業認証制度が始まりました。

今月は、認証を受けた企業から人材育成のための方策について、学びたいと思います。

① 沖縄県人材育成企業認証企業の特長

認証を受けている企業の離職率は低く、利益率が高いという傾向があります。これらの企業に共通する特徴として管理職がイキイキと働いている、若手にチャレンジさせている、そのため管理職はプレイングマネージャーから解放され、疲弊していないことが挙げられます。

② 働きがい5分野15項目

認証基準の一つに働きがい5分野15項目によるアンケートがあります。これは野球型組織からサッカー型組織への変化を先取りしているものです。これらの項目をクリアしていくとは、人材育成企業を目指す企業にとって指針となることでしょう。

③ 人材像の明確化と人材育成の目的

この認証制度において認証企業・未認証企業を比較し、わかったことがあります。それは未認証企業において、認証企業と開きが大きい項目に、「人材像の明確化」があります。求める人材像が不明確だと、人材育成を長期的に継続させることが難しいのです。当社が何のために人材育成するのか、そのためにどのような人材を育成するか、この視点が欠けていると人材育成企業から遠くなるのです。

参照引用：生産性を高める職場の基礎代謝(合同フォレスト 白井旬)
「ホワイト企業」(PHP新書 高橋俊介)
「職場の基礎代謝改善ファシリテーター養成講座テキスト」NPO法人沖縄人財クラスタ研究会

■ 事務所日誌

● 7月の事務所の活動

- 3日 オンラインにて職場の基礎代謝セミナーを受講
- 8日 井原商工会議所にて働き方改革相談窓口対応
- 14日 岡山県社会保険労務士会 新規会員研修の講師
- 14日 オンライン早朝読書会「いばら朝喝同好会」に参加
- 20日 オンラインにてゆうかつ(読書会)を開催



■ 編集好き

▼暑い日が続くので、子どもといっしょに「水風船」を投げ遊びました。ぴしょぴしょになりながら遊ぶと、涼しげな気分になります。これから本格的な暑さがやってきますが、皆さまお体にはくれぐれもお気をつけください。(YS)

● 新規会員向けの研修講師を務めました



先日、岡山県社会保険労務士会にて、新規会員の方を対象とした事務所経営の研修講師を務めさせていただきました。

私も開業時に受講した研修。10年経ち、まさか自分が講師として登壇するとは、思ってもみませんでした。皆さん、熱心で講師の私が逆にパワーをいただきました。参加して下さった皆さん、ありがとうございます。(担当:妹尾悟)